

市駅前広場「つなぐ」
ワークショップ 通信

ひとの賑わいをつなぐ ひとの往来をつなぐ 松山の歴史・文化をつなぐ
みんなの想いを「つなぐ」交流広場へ

市駅前広場エリマネ社会実験2024の振り返り会を実施しました。

松山市では、“松山市駅前広場整備事業（令和8年秋完成予定）”により新たにできる交流広場の有効活用を図るとともに、**地域主体の活動を展開・推進**することで、市駅前エリア全体の**価値を高め、さらに魅力的な場所とすること**を目指しています。そこで、令和5年度から、市駅前のまちづくり活動等に関わるさまざまな関係者の方々とともに、**「新しく整備される交流広場」と「そこに関わる人々」を“つなぐ”ことをテーマ**としたワークショップを実施しています。

第6回目のワークショップ（令和7年2月13日開催）では、前回までのワークショップで企画・検討し、実際に実施した「秋と冬の社会実験」を振り返り、よかった点や課題、改善点、今後の活動について意見を交換しました。



▲社会実験 秋企画：ぼ〜〜〜っちゃ・していかんけん



▲社会実験 冬企画：市駅前広場deクリスマス2024

—— みんなでつくった「つなぐ」交流広場 ——
市駅前広場エリマネ社会実験2024

令和6年度には、これまでのワークショップで検討した短期試行プロジェクトをもとに、**ワークショップメンバーを中心に実行委員会を立ち上げ**、市駅前でエリマネジメンの取り組みを活発化させるきっかけづくりとして、秋と冬に「**市駅前広場エリマネ社会実験2024**」を開催しました。この社会実験は、昨年度から合計5回のワークショップを通じて検討してきた短期試行プロジェクトを実際に実施してみる取り組みです。

秋（10月20日）には、今後整備される市駅前広場の**日常的な使い方**を検証する「**ぼ〜〜〜っちゃ・していかんけん**」を、冬（12月15日・22日）には、市駅前広場の**イベント利用**を検証する「**市駅前広場deクリスマス2024**」を開催しました！

→社会実験の報告書は松山市HPでご覧できます

どちらの社会実験も多くの人で賑わい、笑顔あふれる魅力的な空間が生まれ、**市駅前広場のポテンシャルを再確認する機会**となりました。さらに、ワークショップでの振り返りでは、参加者から「次はこんなことをしてみたい！」「次も参加したい！」「準備は大変だったけれど、とても楽しかった！」「いろんな人と関わりながら成功できてよかった！」「来訪者が楽しむ姿を見られて嬉しかった！」といった、社会実験の成功を喜ぶ声や、今回の社会実験を通じて得られた経験や課題を踏まえて、**今後も継続して新たなことに挑戦したいという前向きな声**が寄せられました（裏面に記載）。今回の取り組みを通じて、今後市駅前広場を魅力的な場所にしていくための**次につながる大きな一歩を踏み出しました！**

◆ワークショップ参加メンバー

- 松山市駅周辺の地元関係者
（商店街振興組合、商業施設 等）
- 交通事業者
- まつやま花園日曜市やお城下マルシェ
の関係者
- その他関係組織や大学生
（UDCM※・愛媛大学など）

※松山アーバンデザインセンター



ぼ〜〜〜ちゃ・していかんけん

憩える音楽の演奏空間 / のんびり（ぼーっと）できる空間 / 飲食の持ち込みができるテラス空間



よかったこと

- みんなが積極的に取り組んでくれて準備・片付けが想定よりも早く終わった！次回はよりスムーズに実施できそう！
- 当日、設置していたソファなどについて問い合わせがあった！
- 子ども連れの利用者が多く、賑わいを生んでいた！

- ジャズの演奏時間に多くの人が集まり、特に2回目の回は盛況だった！ライブ会場としての需要がありそう！
- 昼時にはテラスの利用者が多くいた！アンケートではふらっと立ち寄れる場所があったよかったとの声があった！
- みんなに違和感なく広場を利用してもらえた！



広場が自然と人を引き寄せる空間に

STAFF VOICE

広場を抵抗なく利用する人が多く、ふらっと訪れて「何をやっているんだろう？」と参加する方もいました。通りからも自然に「使っていいんだろうな」と感じて、ずっと広場に入っていく姿が印象的でした。また、普段は見かけない子ども連れの方も多く参加していただき、**いろんな年齢層の方で賑わい**ました。ジャズ演奏は集客力があり、特に2回目の演奏では人が一気に増え盛況でした。



▲いつもは殺風景の「空間」が人の「居場所」になった！

大変だったこと・改善点

- 準備期間が短かったため、メンバー間で十分な情報共有ができなかった
- ショールームのような活用も検討できるかも？
- 開催時間は今後考える必要がある

- アンケートでは、電車側からの視線が気になるとの意見があった
- 天候の影響を大きく受け、アンケートでは開催時期の工夫が必要との意見が寄せられた（夏・冬はNG）



準備期間の短さと情報共有が課題

STAFF VOICE

当日はとても寒く、直前に雨も降りました。幸い本番は天候に恵まれましたが、もし雨が続けていたら急遽片付けが必要になる状況でした。今後は雨天時の対応策を事前にしっかり検討する必要があります。また、準備期間が短く担当者が同時進行で動いていたため、メンバーへの報告が遅れる場面がありました。「あれ、どうなっているんだろう？」と状況が不明瞭になることもあり、今後は**スケジュール管理や情報共有の仕組みを改善**することが重要です。

活動成果・今後について

- 市駅前を利用する人、商店街の人の声をもっと聞きたい
- 近隣住民へのヒアリングが必要

- バス・電車とのトラブルが懸念される
- トラブルなく継続できることが理想！



今後も安全に継続していきたい！

STAFF VOICE

当日、置いていたソファなどについて「どこの商品ですか？」と多く質問があり、ショールームのような活用の可能性を感じました。また、イベント中ずっとテラス席に腰をかけてお話をされている人も居られ、市駅前が**“人の居場所”**になっていました。

今後もイベントを継続していくうえで、**安全に運営することが最も大切**なので、安全面を確保しながら調整し、よりよい形で実施できるよう工夫していきたいです。



▲さまざまな方にご協力を頂き「空間づくり」を進めました！

市駅前広場deクリスマス2024

【12月15日・22日】オリジナルクリスマスツリー点灯式

/ クリスマスワークショップ / 市駅前deライブ!



よかったこと

- ・ 頑張って製作したシンボルとなるオリジナルツリーに人が集まり、写真を撮ってくれた!
- ・ い草のリース作り体験が大盛況で、材料も余ることなくいろいろな人たちに楽しんでもらえた!
- ・ 既存の設備をうまく活用できた!
- ・ 天候の変化にも柔軟に対応できた!
- ・ 何より無事に開催できてよかった!

- ・ 人が集まるきっかけとなる場所になった!
- ・ イベント出演者にも満足してもらえた!
- ・ 合唱団や子どもたちも楽しめるイベントもあり、いろんな人が集まれる場所になった!
- ・ 音楽の力で無機質な空間を華やかな雰囲気にした!
- ・ さまざまな人が関り、それぞれの得意分野を活かして魅力的なイベントを作り上げることができた!



人が集まり、交流が生まれる空間に

STAFF
VOICE

オリジナルクリスマスツリーの設置や、い草のリース作りワークショップなど、みんなの得意分野を活かした企画を通じて、多くの人が集まり**自然と交流が生まれる場所**を作ることができました。特に、子どもたちが集まる機会をうまく作れたことで、周囲も自然と笑顔になり、温かい雰囲気が生まれました。このような雰囲気を大切にしながら、今後もさらに魅力的な場所を作っていきたいです。



▲市駅前deライブ! (み〜can ☆ sisters)

大変だったこと・改善点

- ・ 準備期間が短く、い草のリースやツリー製作が大変だった
- ・ 出演者の待機場所や寒さ・雨風への対策が必要だった
- ・ 事前周知や広報はもっと工夫できたと思う

- ・ イベント中止の判断やメンバーのまとめ役となるリーダーの設定、緊急連絡先の事前共有が必要だった
- ・ 長時間のイベントのため、十分なスタッフの確保とシフト調整が課題だった



経験の蓄積とリーダーシップ

STAFF
VOICE

今回のイベントを通じて、“もっと経験を積んでいかなければならない”と強く感じました。特に、準備や計画の精度を向上させること、メンバーをまとめる**リーダー的存在**をどうするか、またチームとしての動きを強化する必要があると感じました。寒さや雨風対策については今後も検討が必要です。広報の工夫や緊急連絡先の共有不足など細かな改善点も見つかりました。

活動成果・市駅前エリアの変化について

- ・ これまで無機質だった空間が華やかになり、単なる通過点から滞在する場所へと変わった!
- ・ 「市駅前こんなイベントもできるんだ」と自信に繋がる成功体験となった!

- ・ 市駅前のポテンシャルを再発見し、将来への期待が生まれた!
- ・ さまざまな世代が集まる居場所、交流の場となり、市駅前が“新たな目的地”に変わる!



市駅前が通過点から滞在場所へ

STAFF
VOICE

イベントを開催することで、これまで無機質だった市駅前の空間が華やかな雰囲気になり、**単なる通過点から滞在できる場所**になりました。地元の人々や企業、学生が関わることで、多くの人が成功体験を共有できたことも大きな成果でした。最終的には、市駅前が“立ち寄る場所”ではなく**“訪れる目的となる場所”になることを目指していくための良いきっかけになった**のではないかと思います。



▲市駅前deライブ! (えひめこども合唱団)

市駅前広場deクリスマス2024

デリフェス

【12月22日】松山市駅前まるとDeliFes



よかったこと

- 家族連れや子どもなど、**普段とは違う層の人たち**が市駅前を訪れてくれた！
- 15店舗もの多くの店舗が参加し、市駅前周辺の店舗の魅力を多くの人に発信できた！
- 商店街や市駅前に関わるメンバーが連携・協力して取り組めたことが、とても意義深かった！
- このイベントが、**市駅を訪れるきっかけになった**と思う！

- 寒い中でも多くの人に参加し、市駅前に人の滞留が生まれた！
- 注文システムがしっかり機能し、お客さんに食事を提供できた！非日常の体験を楽しんでもらえた！
- 自前のアイデアで集客できるイベントが実現できることが分かった！今後は季節ごとに実施してみたい！
- 何よりトラブルなく、無事に終わられてよかった！



周辺店舗や企業との連携

STAFF
VOICE

15店舗と協力し、37品のメニューを準備し、テーブルに設置した二次元コードからスマホで注文できるシステムを構築しました。当日は158件の注文を受け、盛況でした。寒さ対策として急遽こたつを設置するなど、状況に応じた対応が必要になりましたが、結果的に良い雰囲気を作り出すことができました。15店舗が共同で取り組んだことで、**参加店舗の意欲向上やエリマネ意識の醸成**にもつながりました。



▲当日は極寒・・・急遽設置したコタツ

大変だったこと・改善点

- 天候や気温、雨風への対策を強化する必要がある
- 役割分担を明確にし意思決定を迅速にすることが課題
- スケジュール管理を徹底し、出店情報やアルバイトのシフトを整理すること
- もっと早く地元の店舗と連携し、さまざまな人をもっと巻き込めばよかった

- イベント内容やメニューの告知を早めに行うべきだった
- メニュー表のデザインを改善し、設置部数を増やす！
- 注文システムをさらに使いやすくし、人手がかからないように、配達をより効率的にしたい！
- コンセプトに合った特別メニューの充実。料理の特別感のさらなる演出。



注文システムのグレードアップと早期着手

STAFF
VOICE

事前案内や準備が不足しており、皆様のサポートに助けられながらの開催となった点が反省点です。今後は**配達の効率化や準備スケジュールの管理を改善するとともに、余裕をもって開催日程を決めておくことや内容を明確に**することが必要です。

活動成果・今後について

- これまで人が滞留しなかった空間に、新たな人の流れや賑わいが生まれた！
- 個人や企業、商店街が連携し、一体となってイベントを実施できた！

- 松山市駅、花園町通り、松山城、大街道、銀天街をつなぐ大きな人の流れを作りたい！
- “何が開催されているのか” “参加してみたい” と思えるような看板の工夫をしたい！



店舗・企業・商店街の連携強化

STAFF
VOICE

今後は、出店飲食店の種類やメニューにブラッシュアップの余地があるため、より多様なメニューを提供したいです。特に**個人店舗・企業・商店街との連携を深める**ことで、地元の特色を生かしたメニューや季節感を取り入れたメニューなど、魅力的な飲食体験を提供していきたいです。



▲松山市駅前まるとDeliFes（スマホで料理を注文）

商店街・関係企業



- 今回のイベントが成功できて本当に嬉しいです。次は**春先にまた開催したい**ですが、個人的には**「もっと馬鹿らしいこと」をやりたい**ですね。例えばラジコンやドローンの大会、謎解きイベントなど、「こんな場所でこんなことやるの!？」と驚かれる企画ができれば面白いのではないのでしょうか。
- **いろんな企業の方々と一緒にワイワイしながら進められたのがとても楽しかったです!!** 地元商店街だけでなく、チームとしての行動はとても良い経験になりました。**次回もぜひ参加したい**です。
- 参加者の楽しそうな様子を見て、**松山市駅前の可能性・ポテンシャルを改めて感じました**。イベントの開催など、地元の鉄道会社として協力できることは、ぜひ積極的に協力したいです!!
- 普段は関わらない社外の方とつながり、イベントを実施できたことが貴重な経験でした。**生まれ育ったまちが盛り上がるのを見られるのが私も嬉しく、引き続き関わっていききたい**です!!
- 電車やバスの乗り降りの場である市駅前是通过点という印象でしたが、**電車やバスを利用して頂く方が空間を楽しむ姿をみて、「人が楽しめる空間」としての可能性を実感**しました。市駅の運営企業として、今後も魅力的なイベントを企画し、家族にも自信を持って勧められる場にしていきたいです。
- **企画から実施まで自分たちで作り上げたことが、大きな自信になりました**。最近インバウンドの方も多いので、松山市駅の集客力を活かし、より多くの人を楽しめるイベントを継続しながら、さらに内容を充実させていきたいです。次回は**さらに参加者を増やし、新しいことに挑戦していききたい**です。



▲のんびりできる空間づくり
ぼ〜〜〜っちゃ・していかんけん



▲市駅前のさまざまな使い方
市駅前広場deクリスマス2024



▲スタッフによる当日の片付け風景
ぼ〜〜〜っちゃ・していかんけん

サポーター



- クリスマスツリーの製作はゼロからの挑戦で、とても悩みましたが、仲間とともに試行錯誤を重ねながら多くの方に喜ばれる達成感あるものができました。**製作したツリーは、跳び箱式に増設可能なので、徐々に巨大化できるように**、来年度以降も引き続き、イベントの企画・協力に携わりたいです。
- 参加当初は「何ができるかな?」とゆるい感じでしたが、徐々にグループで形にしていけることができました。い草のリース作りを担当しましたが、**非常に楽しく、畳屋としても意義のある活動でした**。
- この活動に参加できたことに幸せを感じています。貴重な経験になったので、個人的には、**DeliFes**をさらに改善し、**春〜初夏の「ピアガーデン」など新しい企画にも挑戦したい**です。
- お城下マルシェなどイベント企画の経験はありましたが、今回のような皆さんと作り上げる形で進めることは初めてでした。多くの方と協力できたことに感謝します。**次回はさらに仲間を増やし、仕組みもしっかりと考えて、春・夏・秋・冬とオールシーズンで開催**できる形を目指していきたいです。
- 今回、本当に楽しかったです!! 松山市駅が盛り上がることは、銀天街や大街道にも影響があるので、**大きな人の流れが生まれるように、学生たちも、さらにイベントを活性化させていききたい**です。
- 今回は依頼を頂き、業務で携わりましたが、**とても楽しいお仕事で、次回もぜひ参加したい**です!!



▲製作したオリジナルクリスマスツリー



▲い草のクリスマスリース



▲松山市駅前まるとDeliFes

UDCM※



- UDCMの普段の活動では関わらない人達とも一緒に大きな企画が実現できたことはUDCMとしても大きな成功体験でした！ 今後は、**市駅前～花園町～城山公園まで「つながる」取組が進んで、「まちなかで1日中遊べるように」、**中心市街地全体に取組が波及する広場になれば理想的です。
- 初めてのメンバー・企画で不安もあったと思いますが、**皆さんが楽しんだことが何よりうれしいです！**「次もやりたい！」と感じた方がこんなに多くいることは素晴らしいことです。UDCMも引き続き、全力でサポートしますが、**皆さんが「これから、どんなものを作り上げていくのか」がとても楽しみです！！**

※松山アーバンデザインセンター

WS事務局
(松山市)



- 最初は不安もありましたが、**皆さんの力で実現できたことは、次につながる大きな一歩**だったと感じています。今後もこの経験を活かしながら、次の取組へとブラッシュアップを重ねていきましょう！
- 社会実験の成功は素晴らしかったですが、それ以上に、**今後に活かせる多くの財産が生まれた**と感じています。その財産を活用し、市駅前広場の完成後も、皆さんでさまざまな取組を実施したいですね。
- 今回の取組を通じて多くの方と繋がれたことがとても嬉しかったです。いくつかの改善点も見えてきましたが、**継続していくことが重要**なので、これからも一緒に活動していけたらと思います。
- 当日は、アンケート調査を実施しましたが、その時間も大変楽しく、私も充実した時間が過ごせました。**運営側も楽しい活動なので、今後も継続して関わったら最高**だなと思いました。



- ワークショップでは私たちが当初想定もしていない斬新なアイデアが次々と生まれ、それが社会実験でカタチとなり感動しました！ 多くの方が**「次も関わりたい」「挑戦したい」**と言って下さることが本当に嬉しく、今回実施して本当によかったと心から思っています。**市駅前広場が完成すると、イベント等の開催には抜群の環境が整います。**今後も皆さんと成長を楽しみながら、継続した取組を進めますので、今後も皆さんご参加してくださいね！（笑） ありがとうございました！ 【市駅前広場整備担当課長】

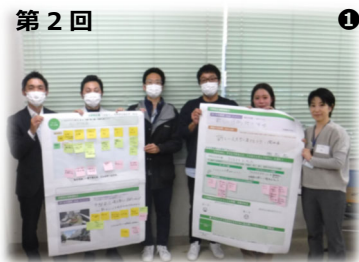
第1回



第3回



第2回



①



②

第4回



③



④

第5回



第1回から第6回までのワークショップは、54名の参加者（学生20名含む）、15名の事務局スタッフ、**総勢69名**の方々にご参加を頂き開催しました。皆さん、ありがとうございました。そして、**次のステップ**へ行きましょう！

Special Thanks

※ワークショップ・社会実験にご参加・ご協力を頂いた皆様

松山市駅前商店街会、まつちか名店会（まつちかタウン）、花園町東通り商店街組合、花園町西通り商店街振興組合、まつやま花園日曜市、松山市駅前地下街（株）、（株）伊予鉄高島屋、（株）伊予鉄グループ、（株）伊予鉄道、松山銀天街商店街振興組合（伊予銀行湊町支店）、セキ（株）、お城下マルシェ出店者の皆様、松山アーバンデザインセンター、伊予匠ノ会、（株）イレブン、愛媛大学社会共創学部、東京大学羽藤研究室学生、復建調査設計（株） e.t.c

問い合わせ先

松山市 都市整備部 交通拠点整備課 Tel:089-948-6021

